モニタリング結果報告書
（令和２年度）

資料１－２①

１．施設概要

施設名	スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町３番１号		
サイトＵＲＬ	http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツの振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年１月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県スポーツ協会		
指定期間	Ｒ２．４．１～ Ｒ７．３．31 （2020年）　（2025年）	施設所管課 （事務所）	スポーツ課

２．総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応 ※新型コロナウイルス感染症が３項目評価（利用状況、利用者満足度、収支状況）に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。
提案に基づき誰もが参加しやすい様々なスポーツ教室の開催等の取組を行った結果、利用者の満足度の評価がＡ評価となり、収支状況の評価はＢ評価、利用状況の評価はＣ評価となったことから、令和２年度の３項目評価はＢ評価とした。 利用状況がＣ評価となった主な理由は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、延べ半年間臨時休館したことである。 収支がマイナス傾向にあるが、施設・設備の老朽化に伴う修繕費・光熱水費の増が主な要因と考えられる。県として、施設の状況を適宜確認しながら、適切に維持管理を行えるよう対応していく。
＜各項目の詳細説明＞ ◆管理運営等の状況 誰もが参加しやすい各種スポーツ教室等の開催を通じて、利用者の拡大を図ったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館日を変更し、一部事業も中止となった。 また、維持管理業務についても、体育館、多目的室、会議室の利用者の怪我や事故防止を図るため、適切な指導やサポートを実施した。利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、常に利用者目線に立った施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施した。 ◆利用状況 利用者数が目標達成率18.9%となったため、Ｃ評価となった。利用件数では839件となり、前年度より2,092件減であり、利用者数は8,901人で前年より27,780人減であった。 利用件数・利用者数ともに減少した原因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために延べ半年間臨時休館とした影響が大きい。今後も引き続きホームページの充実や近隣住民・自治会等へ積極的な広報を行い、会議室や多目的室の個人利用の促進に向け、効果的な利用者サービスの向上に努め、利用人数の増加につなげたい。 ◆利用者の満足度 ９月に実施し、上位２段階の回答割合が89.4%となったため、Ａ評価となった。回収率は、利用者に対するアンケート協力の呼び掛けに努めた結果、95.1%となった。 ◆収支状況 収支比率が90.78%となったため、Ｂ評価となった。これは新型コロナウイルス感染症拡大防止のために延べ半年間臨時休館となった影響が大きいと考えられる。また、経費節減には努めたものの、収支差額は2,606千円のマイナスとなった。 ◆苦情・要望等 アンケート調査等で施設の経年劣化に伴う空調機器の改善等に関する要望など、指定管理者に起因しない要望が寄せられた。職員による点検回数を増やしたり、簡易的な修繕や、清掃等適切な対応に努めた。 ◆事故・不祥事等 日常の施設点検業務を着実に行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 なし

３項目評価	
B	Ｓ：極めて良好 Ａ：良好 Ｂ：一部改善が必要 Ｃ：抜本的な改善が必要 ※３項目評価とは、３つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

３．月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実 施 日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時現場確認を実施（月１回程度）	
随時ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞにおける指導・改善勧告等の有無	有 ・ 無	指導・改善勧告等の内容

４．管理運営等の状況

〔　指定管理業務　〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるｺﾒﾝﾄ
施設の維持・管理について	経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実に行い、安全な施設運営に努めた。	引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。
年末年始、施設点検日（原則月１回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始 ベビーベッドの新設、未病改善をコンセプトにしたリラックスゾーンの設置	年末年始、施設点検日を除いた日を開館として計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い、令和２年７月１日から令和３年１月11日まで161日の開館となった。 ベビーベッドは設置に向けて検討中。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リラックスゾーンの設置を取りやめた。	開館日の変更は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために行った臨時休館によるものであるため、感染症収束後、適切に実施してもらいたい。 ベビーベッドについては設置に向けて検討中とのことだが、引き続き、実施に向けて取組を進めてもらいたい。リラックスゾーンについても、新型コロナウイルス感染症収束後の設置に向けて、取組を進めてもらいたい。
外部諸機関との連携	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業が中止となったが、スポーツ教室・体験会を県内競技団体の協力を得て実施した。	引き続き、より多くの利用を図るための取組を実施してもらいたい。
人材育成（職員育成・研修）	利用者サービスの向上に資するため各種研修（新型コロナウイルス対応で実施）を職員各自で実施した。 第１回　令和３年２月15日 「かながわシェイクアウト」について職員各自で実施し、避難経路等の確認についても各自で行った。 第２回　令和３年２月16日 日本赤十字社が作成した動画による一次救命処置講習の「心肺蘇生」、「ＡＥＤの使い方」を各自で視聴した。 実施を予定していた救急法講習会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	引き続き、緊急事態への対応ができるよう努めてもらいたい。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

〔　参考：自主事業　〕

事業計画の主な内容	実施状況等
スポーツ教室・体験会の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の教室・体験会を除き中止 硬式卓球　中止 ラージ卓球　中止 小学生卓球教室　中止 小学生卓球(夏期)　中止 ダンススポーツ　中止 幼児体操(2クラス)　中止 小学生体操教室　中止 幼児体操(夏休み)　中止 小学生体操(夏休み)　中止 ヘルシーヨーガ教室　２期中止 １期13名 美姿勢ヨーガ教室　中止 美姿勢ヨーガ教室(夏期)　中止 ナイトヨーガ教室　２期中止 １期６名 ナイトヨーガ教室(夏期)　中止 ジュニアテニス(2クラス)中止 ジュニアテニス(夏休み) (2クラス)中止 太極拳教室　中止 ジュニアダンス教室 (2クラス)中止 親子英語リトミック教室 (2クラス)中止 英会話教室(2クラス)　中止 空手道体験会(夏期)　33名 空手道体験会(終期)　18名 ダンス体験会(夏期)(HIP HOP) 84名 ダンス体験会(夏期)(JAZZ) 81名 ダンス体験会(秋期)(HIP HOP) 延べ554名 卓球体験会　延べ288名 バスケットボール体験会 延べ626名
生涯スポーツセミナーの開催	救急法講習会　中止
スポーツ指導者への研修会の開催	トレーナー研修会　中止 スポーツ指導者研修会　中止
健康体力相談事業（大学連携）の開催	健康体力アップ教室　中止 ロコモチェック　中止

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

５．利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、Ｓ：110%以上　Ａ：100%以上～110%未満　Ｂ：85%以上～ 100%未満　Ｃ： 85%未満　目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和２年度
利用者数※	41,298	36,681	8,901
対前年度比		88.8%	24.3%
目　標　値	47,000	47,000	47,000
目標達成率	87.9%	78.0%	18.9%

目標値の設定根拠：　過去数年の間の利用者を参考に算定し決定

利用者数の算出方法（対象）：　団体は利用報告書に人数を記載
個人利用は利用申込書で人数を確認

※　原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がＣとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

スポーツ教室・体験会等の開催や体育館の一般開放、多目的室の個人利用を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、一部事業が中止となった。

そのため、開館日数も当初計画では342日であったが、令和２年７月１日から令和３年１月11日までの161日へと変更になった。

それに伴い、利用者数も8,901人で前年度より27,780人減（対前年度比24.3%）となった。

②令和２年度の対応状況

令和２年３月３日　臨時休館
令和２年７月１日　各室・各会場の利用人数を制限した上で施設の利用を再開
（更衣室は利用不可）
12～13時、16～17時、20～21時は職員による消毒時間のため利用不可
令和２年８月４日　体験会開催
（臨時休館になるまでスポーツ教室・体験会を開催）
令和２年10月27日　窓口コンシュルジュ配置
令和２年11月１日　更衣室利用再開
令和２年12月１日　職員による消毒時間を20～21時のみに変更。
令和３年１月11日　臨時休館

６．利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、Ｓ：90%以上　Ａ：70%以上～90%未満　Ｂ：50%以上～70%未満　Ｃ：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間２回（９月と２月） ただし、２月は臨時休館のため実施できなかった。	臨時休館の影響で年間１回しか実施できず、また、施設の利用制限等で例年より配布数も少なかった。 アンケートの結果は、職員の対応について「とてもよい・よい」が89.4%となった。引き続き利用者とのコミュニケーションを積極的に図っていきたい。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容　施設管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法　窓口での配架・利用者に直接配布　回収数／配布数　77　／　81　＝　95.1%

配布(サンプル)対象　スポーツ会館利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	11	56	8	0	75	
回答率	14.7%	74.7%	10.6%	0.0%		
前年度の回答数	76	197	7	0	280	
前年度回答率	27.1%	70.4%	2.5%			
回答率の対前年度比	54.0%	106.1%	422.7%			

（複数回実施した場合は、平均値を記載。）

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がＣとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響

―

②令和２年度の対応状況

―

７．収支状況

評価	≪評価の目安≫　収支差額の当初予算額：０円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が　Ｓ（優良）：105％以上　Ａ（良好）：100％～105％未満 Ｂ（概ね計画どおりの収支状況である）：85％～100％未満　Ｃ（収支比率に15％を超えるマイナスが生じている）：85％未満
B	

〔　指定管理業務　〕　（単位：千円）

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,261	2,570			20,831	20,831	0	
	決算	18,261	2,578			20,839	22,681	-1,842	91.88%
前年度	当初予算	18,593	2,606			21,199	21,199	0	
	決算	18,593	2,340			20,933	23,358	-2,425	89.62%
令和２年度	当初予算	18,362	2,651			21,013	21,013	0	
	決算	24,946	721			25,667	28,273	-2,606	90.78%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数　（単位：千円）

令和２年度 /　　前年度 /　　前々年度 /

＜備 考＞

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がＣとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

臨時休館の影響・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応や一部事業の中止のため、利用料金収入が前年度より1,619千円マイナス（対前年度比30.8％）となった。

②令和２年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により指定管理料（感染症対策費）が増額（6,584千円）された。

８．苦情・要望等　☑ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

９．事故・不祥事等　☑ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10．労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。